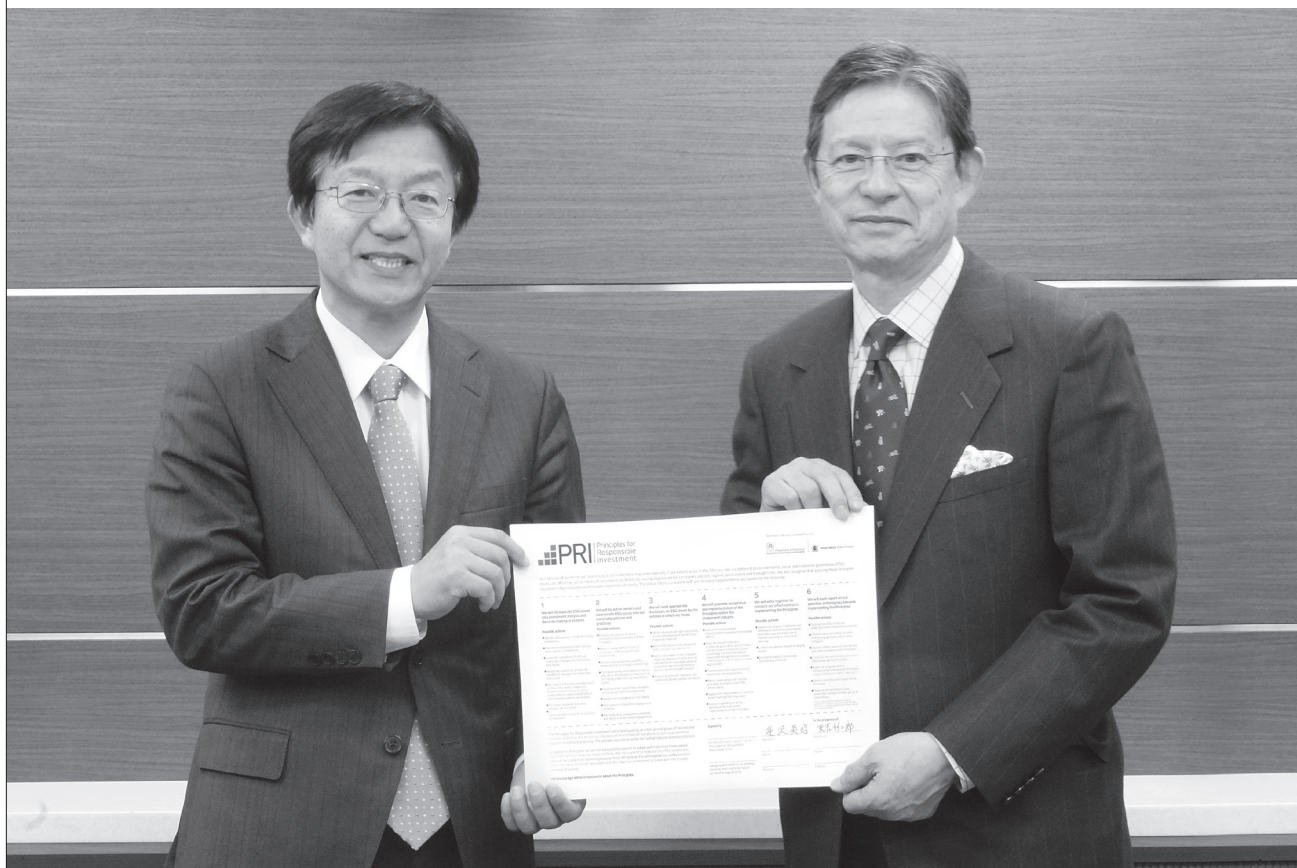


東京海上キャピタル 責任投資原則に署名



写真左：深沢英昭氏（東京海上キャピタル(株) 取締役社長）/ 写真右：末吉竹二郎氏（国連環境計画金融イニシアチブ特別顧問）

東京海上キャピタルは、日本に本社を置くPE運用会社（GP）として初めて責任投資原則に署名しました。

責任投資原則*の考え方は、当社の投資運用方針と親和性が高く、投資先である中堅・中小企業の企業価値の更なる向上に資すると考えます。当社のESG活動に関しては、企業のガバナンス改善を中心として成果を出しており、過去13件の投資実績において「全案件で投資コストを上回る回収実績」を実現してまいりました。これからも、年金投資家・機関投資家の皆様が安心できる投資に邁進してまいります。



年金投資家様の安心安全のため

ESG投資を視野に入れて

PE投資に邁進致します。

お問い合わせ窓口：東京海上キャピタル株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-2-1 東京海上日動ビル新館6階
Tel：03-5223-3516（金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第2374号）
URL：http://www.tmcap.co.jp/

※責任投資原則（Principles for Responsible Investment、略してPRI）とは、世界1181（2013年3月27日現在）の年金基金や運用機関などが署名している投資原則。CalPERSなどの公的年金を含む世界中の投資家等が集い、投資家として責任ある行動をとるための規範について議論を重ねられ2006年4月に発表された。意思決定プロセスにESG課題（環境、社会、企業統治）を委託者責任の範囲内で反映させるべきとした世界共通のガイドライン的な性格を持つ。国連環境計画や国連グローバルコンパクトが推進している。

Signatory of:

